

- 二十一、秀逸賞 八点 南会津町  
 一二〇 百姓のつらさをかくす頬被り 大塚麗華
- 二十二、秀逸賞 八点 南会津町  
 一三五 それぞれの樹影定まる二月かな 堀田たか女
- 二十三、秀逸賞 八点 須賀川市  
 一四七八 漉く紙に水のひかりを集めけり 伊勢芳子
- 二十四、秀逸賞 八点 石川町  
 一六四一 うすうすと水けずりては紙を漉く 諸岡京子
- 二十五、佳作 七点 水戸市(茨城県)  
 三二 包丁に吾が身を乗せて南瓜切る 松本文子
- 二十六、佳作 七点 福島市  
 七九 三粒づつ指でたしかめ大根蒔く 蒲倉琴子
- 二十七、佳作 七点 本宮市  
 一〇四 とろゝ芋下げて年始の大男 伊藤えき
- 二十八、佳作 七点 会津若松市  
 三六四 鳥帰る明日は無人となる母校 三星睦子
- 二十九、佳作 七点 郡山市  
 二四九 火の中にだるま居座るとんど焼 景山ツル
- 三十、佳作 七点 南相馬市  
 二三〇 摘むも惜し摘まぬも惜しき露の臺 高橋愛子

- 三十一、佳作 七点 二本松市  
 一〇三 齒並びの悪き柘榴の笑ひをり 佐藤ゆうじ
- 三十二、佳作 七点 郡山市  
 二五〇 胎の子も足つっぱって紙を漉く 三浦和子
- 三十三、佳作 七点 喜多方市  
 三五 梟の森がふくらむ春の闇 遠藤正子
- 三十四、佳作 七点 二本松市  
 二二二 牛舎の灯消して枯野の星仰ぐ 桑原美喜夫
- 三十五、佳作 七点 防府市(山口県)  
 六一 藪椿落して風の句読点 末永敦子
- 三十六、佳作 七点 いわき市  
 一五〇七 父母の間は即ち仏間障子貼る 大河原和子

採点・入賞基準

- 一、特選句五点、秀逸句三点、入選句一点として集計致しました。
- 二、単独句、高点順位とし、同一人による入賞は上位一句のみと致しました。
- 三、同点の場合は特選句・秀逸句の多い順、番号の早い順と致しました。